

種名	<p style="text-align: center;">オオハクチョウ</p> <p style="text-align: center;"><u>Cygnus cygnus</u></p> 												
分類	ガンカモ目ガンカモ科												
特徴	<p>長い首を伸ばして飛ぶ、白くて大きい水鳥。ユーラシア大陸の亜寒帯で広く繁殖し、日本へは冬鳥として渡来する。主に北日本へは冬鳥として渡来する。主に北日本や日本海側の地方で越冬し、北海道尾岱沼、青森県大湊湾、宮城県伊豆沼、新潟県瓢湖などが、多くの個体が越冬するところとして名高い。ガン類と比べると近年、渡来地が増える傾向にあり、観光を目的とした給餌も各地で試みられている。渡来数は全国で1万羽前後である。</p>												
生活	<p>越冬地では湖や沼、大きな川、河口、内湾などで生活している。つがいと、前の繁殖期に孵化した数羽の幼鳥からなる家族群が行動の単位で、それらの集団が数十羽から数百羽の群れを作っている。内湾ではアマモ、湖ではアシ、ガマなど水生植物の茎や根を主な餌とし、長い首を水中に突っ込んだり、上半身を水に入れ逆立ちの姿勢でそれを食べる。繁殖地では水辺の地上や浅瀬に枯れ草などで大きな巣を作り、5～6個を産む。</p>												
声	<p>水上や地上では「コー」と優しく鳴いてから高いに首を上下にさせて、にぎやかに「コホーコホー」と鳴き交わす。雄と雌、家族同士も「コーコー」と柔らかな声で挨拶を交わす。飛翔中は「グーン」と、少し濁った声で鳴くことが多い。</p>												
見分け方	くちあしの黄色い部分が大きいことでコハクチョウと見分けられる。												
時期	(月)	1	2	3	4	-	-	-	-	-	10	11	12
その他	全長(L)141cm 翼開長(W)225cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													